



# 信太の森ニュース

No. 37

2020年12月31日

文責 田丸八郎



今年度も「和泉市水仙基金」の助成により2号木道が完成しました。

5月の連休前後の惣ヶ池湿地とその周辺は、ヤマツツジ、モチツツジが例年になく美しく開花し、来訪者の目を楽しませてくれました。

今年のゴールデンウィークは新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛が叫ばれている最中でしたが、申し合わせした訳でもないのに午前中の惣ヶ池湿地のベンチには毎日FANクラブのメンバー4, 5人がやって来ました。最も多い日は8人という日もあり、マスク着用とソーシャル・ディスタンスを保ちつつ植物や野鳥の話などに花を咲かせました。

森に囲まれた惣ヶ池湿地なら感染する恐れ

もなく安全なところと思ったのは筆者ばかりではなかったようです。

惣ヶ池湿地に頻繁に足を運ばせたのは花ばかりではありません。新緑の頃にやって来るキビタキやオオルリばかりか惣ヶ池湿地では珍しいサンショウクイ、アカハラ、コサメビタクといった珍しい鳥との遭遇を楽しみに足を運ぶ会員もありました。

そんな惣ヶ池湿地も湿地整備後21年になりますが、その存続問題が持ち上がっています。土地所有者の泉北水道企業団が来年3月解散することが決まりました。

NPO法人 信太の森FANクラブ

事務局：〒594-0013 大阪府和泉市鶴山台3丁目4番1-202

電話 0725-45-7357 090-1225-9159

E-mail [tamahati@amber.plala.or.jp](mailto:tamahati@amber.plala.or.jp)

## 公園協議会の動きと活動

3月から新型コロナ感染予防のため中断していた公園協議会の保全活動は、8月1日に高校生を中心に予備活動として行われ、9月6日から本格的に始動しました。

8月4日に開催された協議会の総会では来年度前半から「暫定開園」すること、今年度後半（10月から）保全活動を月2回行うことが決まりました。

「暫定開園」については、この間の運営委員会の中で、市の方から保全活動参加者が少ないこともあり、公園整備を行っていることを広く市民に知らせ、保全活動参加者を増やしたいという意向から来年（R3年度）度前半より「暫定開園」したいとの意向が示され決まったものです。

この「暫定開園」については、園路整備や草原復活のためのネザサの根の除去工事抜きに提案されていることから、初期計画どおりに草原復活を考えているのかどうか、その間の安全面も含めて疑問が残るところです。

10月以降の保全活動は月2回の活動になります。1回目は従来通り第一日曜日、2回目は当面、現在自主活動グループが行っている第3火曜日に活動することになりました。

## 惣ヶ池湿地・第1号木道好評

昨年度、(財)大阪コミュニティー財団による「和泉市水仙基金」の助成を得て設置した惣ヶ池湿地(湿地C)の第1号木道は、イシモチソウ、コモウセンゴケ、コケオトギリなどが湿地を荒らさず間近で観察できることから利用者に好評です。

減少傾向にあった絶滅危惧種のムカゴニンジンも湿地内踏み込みがなくなりやや増えて、サワヒヨドリとともに白い花を楽しませてくれています。

## 二本の木道を新たに設置

木道整備については、昨秋、(財)大阪コミュニティー財団に今年度の助成を申請していたところ、今年度も「和泉市水仙基金」の助成を受けることができました。

その授賞式は、新型コロナの感染予防のため中止されましたが、4月にその助成額が振り込まれました。

今年度は、前々号でお知らせしましたが、一本目は湿地を横切る北端の畦道が人の重みで押し潰されて沈下していることから観察ルート確保のためそこに木道を設置する。2本目は湿地中央の畔が沈下して歩けないことからそこに設置することにしていたが、利用頻度が高い湿地南端の畔(池の淵)に設置することとして作業を進めました。

10月から資材運びと作業を開始し、10月中に1本目を完成させ、11月に2本目の木道を整備することができました。



完成した2号木道と木道設置作業に参加したメンバー



湿地南端の池の淵に設置した3号木道



## 惣ヶ池湿地の存続問題

日頃私たちが観察会や保全活動を行っている惣ヶ池湿地は、大阪府下最大の湿地保全地区として整備されてから20年になります。

私たちはこのよき自然環境を守り後世に残すべく保全活動を続けているところですが、その存続問題が浮上してきました。

この湿地を所有する泉北水道企業団（和泉市、泉大津市、高石市で構成）が令和3年3月末で解散する動きが出てきました。

同企業団は、府営水道が整備される前に3市で賄う水道として作られ、光明池から水を引き3市で運営されてきたものですが、昭和63年に府営水道が整備されたことから府営水道一本化に向け、平成10年度に廃止する方向が示されていました。その後3回に亘り延長され、令和3年3月末で廃止することが決まっていたものです。

水道企業団の水道供給事業廃止について、府営水道より安価で水質がよい水道事業の存続を求めるFANクラブ会員から「なにかし

なければ・・・」と相談があり、理事会にも諮り信太山丘陵の自然環境保護の立場から水道事業を継続する「要望書」を水道企業団を構成する3市の市長及び市議会議長に対して提出してきました。

これに対し和泉市長からは

「泉北水道企業団につきましては、諸般の事情により企業団の解散に向けた取り組みを進めており、惣ヶ池湿地の一部を含む同企業団の財産の今後のあり方については、構成自治体の協議により決定することとなります。

なお、同湿地については、大阪府の生物多様性ホットスポットAランクに指定されている「信太山丘陵」との関連性も深く、豊かな自然環境が残された重要な地域であると認識しています。」との返書が届きました。

高石市では存続を求める署名活動が取り組まれましたが、議会で否決され、和泉市議会、泉大津市議会でも水道企業団廃止が議決され来年3月末で廃止することが決まりました。

泉北水道企業団の敷地は、惣ヶ池湿地と二つの貯水池の底の部分で、その他大部分が国有地と自衛隊敷地と聞いています。

今後、水道企業団を構成する3市の協議により決められることになってはいますが、惣ヶ池湿地及びその周辺の自然環境が護られるのかどうか見守っていく必要があります。

## 信太丘陵の植物この一年

この一年、私たちを楽しませてくれた信太山丘陵の植物のうち大阪府のレッドリスト掲載種（R）や信太山丘陵での希少種の現状を報告します。

まずは惣ヶ池湿地の湿地植物から紹介しましょう。

昨年1号木道を設置した湿地Cでは、奥の法面に食虫植物のイシモチソウ（R）とコモウセンゴケ（R）があります。5月にはイシモチソウが、6月頃からはコモウセンゴケと

コケオトギリが多数開花して9月頃までその花を楽しませてくれました。特にコモウセンゴケは例年よりも開花数が多く、開花期間も他の場所のものとは比べて一ヶ月以上長く花を楽しませてくれました。

木道を設置したことで木道から間近に観察できるため観察会参加者には好評でした。

この湿地ではムカゴニンジン(R)が減少していましたが、木道設置により湿地内への踏込がなくなったことから増えはじめました。

惣ヶ池湿地には夕方から咲きだす花が二種類あります。ミズオトギリ(R)とスズサイコ(R)がそれです。スズサイコは元々惣ヶ池湿地には無く、自衛隊演習場内にあったものを3年前に二株移植したものです。それが移植後はじめて実をつけました。

その近く2号木道沿いにスズサイコと同じガガイモ科のタチカモメヅル(R)も初めて実をつけました。これは約10年位前から毎年星様の花を付けていましたが、これまで実を結ぶことはありませんでした。どちらも細長い似たような実を付け、種も似ていてタンポポの種のように種に綿毛を付けています(写真)。



スズサイコ(左)とタチカモメヅル(右)

湿地中央辺りにあったオモダカに似たアギナシ(R)は水の流りに沿って徐々に範囲を拡げ、2号木道際までできています。

惣ヶ池湿地で特筆すべきは、湿地内にはなかったキキョウ(R)が初めて開花したこ

とです。昨年湿地内林縁で花芽を付けない一株が見つかり、今年は更に一株増えて二株とも湿地内で初めて淡い紫色の花を開きました。

「里山自然公園予定地」では、過去にはあったものの姿を消してしまったものにセンブリとツリガネニンジンがあります。

いずれも危惧種ではありませんが、「公園予定地」周辺ではここ10年ほどは確認されていませんでした。

この二種をなんとか復活させたいとツリガネニンジンはこの夏に黒鳥公園から3株ほど、センブリも信太山丘陵内の自生地から5、6株を移植しました。

皮肉なものです。この二種とも移植後「公園予定地」内の別の場所で自生のものが見つかったのです。

喜べないのが公園予定地内のサギソウ(R)です。自生地のサギソウが今年度は一輪も開花しませんでした。

## 信太丘陵の植物を増やしたい

信太山丘陵のサギソウを絶滅させないために無菌培養で増やそうと2008年8月に今は亡きFANクラブ前代表の花田さん、島崎さん、筆者とその話を持ち込んできた園芸店勤務の青年Tさんの4人で「SSプロジェクト」を立ち上げました。

自生地のサギソウを受粉させ、種を採取し、無菌培養して400株のサギソウをプランタで育て、毎年3月にプランタ内で植替えを続けています。その一部を惣ヶ池湿地に定着させるまでになっています。

これと同様に信太山丘陵の希少種を増やしていかなければと考えています。

キキョウ、オミナエシ、センブリ、ツリガネニンジン、リンドウ等々。ご協力ください。

### 編集後記

新型コロナ過で活動を止めていた訳ではないのですが、何をお伝えしようかと考えている内に発行が遅れてしまいました。緊急事態宣言が出ている中、其々にご自愛いただきコロナ過を乗り越えましょう。